

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2019年（平成31）年 第3週（1月14日～1月20日）

今週のコメント

～インフルエンザ～咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 警報レベル超え続く」

第3週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は2,234例であり、前週比5.6%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、流行性角結膜炎の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ6.82、1.91、0.62、0.56、0.37である。

感染性胃腸炎は前週比5%減の1,357例で、南河内14.56、北河内8.44、泉州7.48、中河内7.05、大阪市西部6.90であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%増の380例で、大阪市南部3.06、南河内2.88、堺市2.47、北河内2.30である。

RSウイルス感染症は4%増の123例で、南河内1.00、大阪市北部0.93、大阪市西部0.90、中河内0.75であった。

伝染性紅斑は1%増の112例で、豊能1.50、大阪市北部1.14、三島0.94である。

流行性角結膜炎は37%減の19例で、三島1.00、北河内0.67、豊能・堺市0.60であった。

インフルエンザは25%増の13,920例で定点あたり報告数は46.09となり、前週に引き続き警報レベル30.00を超えた。ブロック別では大阪市北部70.05、大阪市西部63.53、南河内57.38、堺市52.45、北河内50.24の順に多く、11ブロックすべてで警報レベルを超えている。

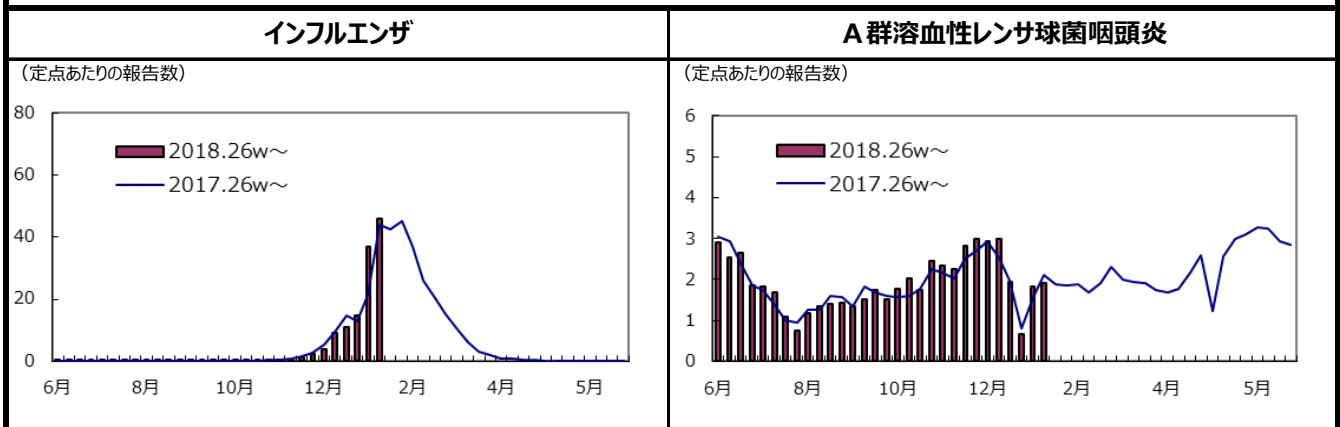


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2019（平成31）年 第3週1月14日～1月20日）

第3週の順位	第2週の順位	感染症	2019年 第3週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2018年 第3週の 定点あたり 報告数	2019年第3週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.82	5%減	5.74	1歳_18%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.91	4%増	2.10	5歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.62	4%増	0.65	1歳_35%
4	6	伝染性紅斑	0.56	1%増	0.06	6歳_21%
5	4	流行性角結膜炎	0.37	37%減	0.37	20歳以上_95%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	46.09	25%増	44.17	20歳以上_25%

第3週のコメント

～麻疹～ ワクチンで予防可能な感染症です。2018年、大阪府内の累積感染者数は19例です。

全数把握感染症

麻疹

麻疹（はしか）は麻疹ウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻疹発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻疹排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻疹が流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、1）1か月以内に麻疹患者と接触していた場合、2）麻疹流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻疹を疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻疹疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻疹はワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[麻疹とは\(国立感染症研究所\)](#)

(累積報告数)

週	2016	2017	2018	2019
01	0	0	0	0
03	0	0	0	14
05	0	0	0	0
07	0	0	0	0
09	0	0	0	0
11	0	0	0	0
13	0	0	0	0
15	0	0	0	0
17	0	10	0	0
19	0	10	0	0
21	0	10	0	0
23	0	10	0	0
25	0	10	0	0
27	0	10	0	0
29	0	10	0	0
31	0	10	0	0
33	40	10	0	0
35	50	10	0	0
37	50	10	0	0
39	50	10	0	0
41	50	10	0	0
43	50	10	0	0
45	50	10	0	0
47	50	10	0	0
49	50	10	0	0
51	50	10	0	0
53	50	10	19	0

表 2. 大阪府全数報告数（2019 (平成31)年 第3週1月14日～1月20日）

*) 注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

	疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3 類感染症	報告はありません										
4 類感染症	E 型肝炎	1							1		1
	デング熱	2	2								4
5 類感染症 (麻疹、風しんは除く)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3	1		2						7
	急性脳炎	1					1				4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	1
	後天性免疫不全症候群	1								1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1								1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1						1			12
	梅毒	10	1		1	2				6	30
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1						1			1
百日咳	13	3		1	1	3	1	1	3	31	
結核 (2018年11月分)	結核 新登録患者数：167名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 66名) (府内累積報告数 1,673名、内 肺・喀痰塗抹陽性 652名)										
風しん、麻疹	風しん 8名 (豊能 2名、南河内 1名、堺市 2名、大阪市 3名、府内累積報告数 15名) 麻疹 8名 (豊能 3名、大阪市 5名、府内累積報告数 14名)										

(2019年1月22日 集計分)